



平成 21 年 11 月 4 日

各 位

東京都港区浜松町一丁目 27 番 16 号
 株式会社インフォマート
 代表取締役社長 村上 勝照
 (コード番号: 2492 東証マザーズ)
 問い合わせ先 常務取締役兼管理本部長
 藤田 尚武
 電話 (03) 5777-1710

株式会社インフォマート**2009/12 期 第 3 四半期決算ハイライト****— 「FOODS Info Mart」利用企業数 19,791 社へ拡大し、増収増益 —**

(単位:百万円)

		2009/12 期						通期 業績予想 進捗率
		3Q(7-9月)実績		3Q累計(1-9月)実績		通期予想※		
		金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	
売上高	ASP商談事業	273	5.4%	800	0.6%	1,218	14.1%	65.7%
	ASP受発注事業	422	22.3%	1,216	24.9%	1,649	20.0%	73.7%
	ASP規格書事業	50	52.4%	129	40.9%	199	56.9%	64.8%
	合計	746	17.0%	2,146	15.3%	3,067	19.4%	70.0%
営業利益		178	9.2%	506	11.1%	721	9.5%	70.2%
経常利益		178	8.9%	506	10.4%	720	8.8%	70.3%
四半期/当期純利益		103	8.1%	294	10.2%	417	7.7%	70.5%

※2009/2/12発表

(注) 本第 2 四半期より子会社「株式会社インフォマートインターナショナル」の設立に伴い、連結決算として開示しております。上記の前年同期比は、前年同期の単独決算と比較した参考数値です。

1. 09/12 期 第 3 四半期決算の概要**■業績全体**

- ・業務効率化・コストダウン等を目的とした企業間電子商取引に対するニーズ及び食の安全・安心対策強化の高まり等から「ASP受発注事業」及び「ASP規格書事業」を中心にシステムの利用拡大が進みました。
- ・第 3 四半期末(2009 年 9 月末)の「FOODS Info Mart」利用企業数は、6 月末比 333 社増の 19,791 社(売り手企業: 同 377 社増の 17,179 社、買い手企業: 同 44 社減の 2,612 社)となりました。
- ・第 3 四半期(2009 年 7-9 月)の月額顧客単価(ARPU)は、「ASP商談システム」の売り手企業の純増及び「ASP規格書システム」のリニューアルによる料金改定で第 2 四半期から 284 円増加し、11,642 円へ上昇しました。
- ・利益面は、ASP受発注システムを中心とした 3 システムのシステム使用料収入の増加が、システム関連コスト(データセンター費、ソフトウェア償却費)、営業体制強化のための増員による人件費、海外子会社設立費の増加を吸収し、前年同期比で増加となりました。

■ASP商談事業

- ・「ASP商談システム」の「日常業務」での利用を促進し、第 2 四半期に続き、売り手企業数が純増となりました。特に売り手企業が営業ツールや自社データベースに活用する写真付商品カタログのシステム掲載に注力した結果、商品カタログ数が 6 月末から倍増し、63 万件となりました。又、11 月にスタートする食品卸会社向けの新システム「受注・営業システム」の発表を行いました。

■ASP受発注事業

- ・「ASP受発注システム」は、引続き買い手新規稼動が順調に推移し、今年度からの FC 機能の提供も加わり、買

い手本部とその店舗、取引先の売り手企業数が増加しました。

- ・第3四半期末の買い手企業の稼働社数は636社（6月末比31社増）、買い手企業の利用店舗数は13,978店舗（同666店舗増）、売り手企業数は14,831社（同353増）、第3四半期累計期間のASP受発注取引高は3,554億円となりました。

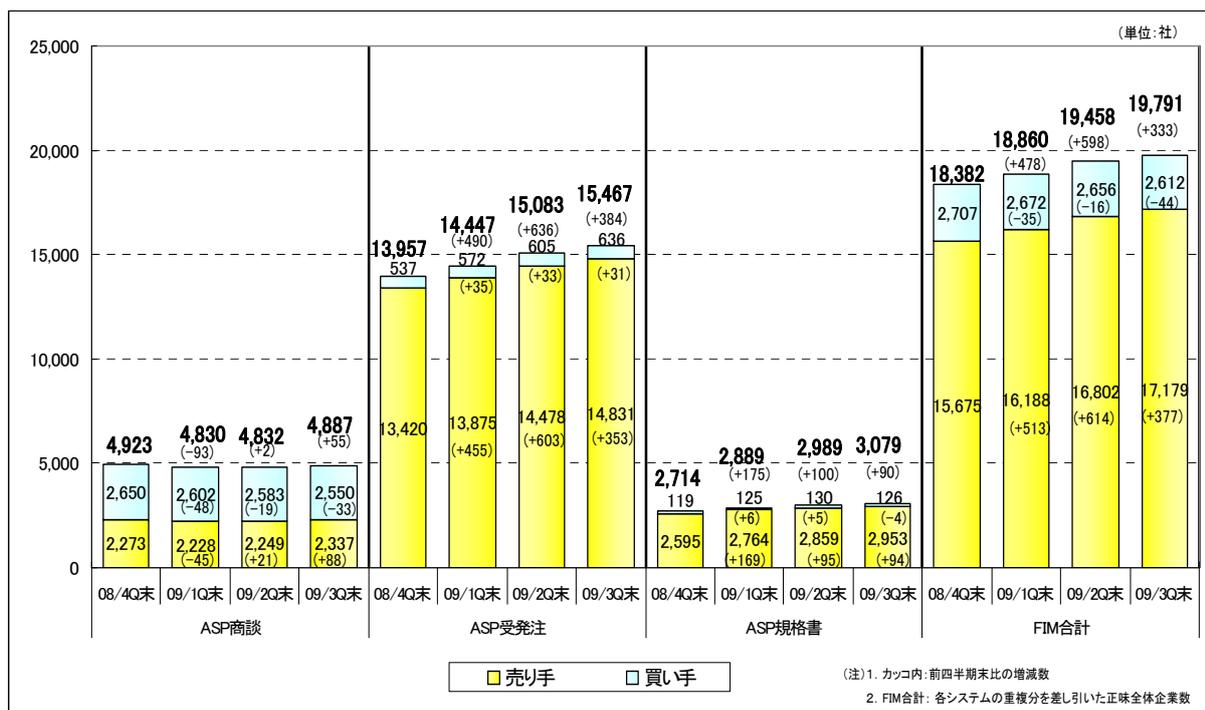
■ASP規格書事業

- ・「ASP規格書システム」は、7月に自社商品規格書管理システムとして「製・配・販」それぞれの立場で必要となる新機能（メーカー・製造業機能、卸機能、買い手機能）を搭載した全面リニューアルを行い顧客利便性が大幅に向上いたしました。また、リニューアルに伴う9月の料金改定も順調に進みました。
- ・第3四半期末の買い手企業の稼働社数は126社（6月末比4社減）、売り手企業数は2,953社（同94社増）、商品規格書掲載数は128,793アイテム（同16,252アイテム増）となりました。

■海外ライセンス事業

- ・今年度から開始いたしました海外ライセンス事業は、国内で培ってきたシステム提供・営業ノウハウを活かし、海外企業との提携によって海外での「FOODS Info Mart」の利用拡大を目指す事業です。当社グループは主にライセンス販売を行い、海外での利用拡大とともに当事業の成長を図ります。
- ・当第3四半期では、当事業の第一弾として中国市場での営業活動を開始いたしました。ライセンス契約を行った現地企業のKFOOD社とともに、北京を中心に現地の外食企業に向けて「ASP受発注システム」及び「ASP商談システム」の営業活動を行い、第4四半期での新規稼働案件の獲得をいたしました。

[FOODS Info Mart 利用企業数の推移]



(注) 事業部門別の利用企業数は、各事業のシステムを利用する利用企業数の全体数を表示しており、「FOODS Info Mart」合計数は、各事業のシステムにて重複する利用企業数を「調整値」として差し引き、正味の全体企業数を表示しております。

2. 09/12 期業績予想について

第3四半期累計期間（1～9月合計）の通期業績予想への進捗率は、売上高、経常利益ともに70%となりました。事業別に進捗の差はありますが、第4四半期は、第3四半期までのシステム使用料の積上げ及び食材取引が年間で最も多い時期であることから、例年通り、売上高が伸びる予定です。また、「FOODS Info Mart」利用企業数も当初計画の2万社に達する見込みです。

従いまして、通期の業績予想は、前回公表（2009年2月12日）と変更ありません。

以上